行政評価シート（事務事業評価）

評価年度	28年度

事業名	狂犬病予防事業	担当課	環境課
細分化した事業名			

1 計画（PLAN）：事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	
	政策	
	施策	
関連する個別計画等		根拠条例等	狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律、山梨県動物の愛護及び管理に関する条例、韮崎市犬取締り条例

2 計画（PLAN）：事務事業の概要

事業の目的	・犬や猫を適正に飼育していただくことで、人と犬猫の調和のとれたまちづくりを目指す。 ・狂犬病の発生を予防。 ・犬や猫の不要な繁殖を防ぐ。
事業の手段	〈実施・運営方法〉 ・韮崎市内を巡回し、集合方式の予防注射接種の実施。 ・犬猫の飼育に関するチラシ等を配布し、適正飼育の啓発。 ・犬の登録の促進。 ・狂犬病予防注射接種の促進。 ・繁殖を望まない飼い主が不妊去勢手術を実施することに対して助成金の交付。 ・迷い犬に対する苦情処理（飼育者への指導・保護・捕獲）。
事業の対象	・飼い犬とその飼い主。 ・迷い犬とその被害を受けている住民。 ・飼い猫とその飼い主。

3 実施（DO）：投入費用及び従事職員の推移（インプット＝費用＋作業）

		25 年度	26 年度	27 年度
A 事業費	（千円）	1，612	1，670	1，499
財源内訳	国・県支出金			
	その他（使用料・借入金ほか）	1，209	1，008	1，202
	一般財源	403	662	297
B 担当職員数（職員 E）	（人）	0．50	0．50	0．50
C 人件費(平均人件費×E)	（千円）	3，246	3，397	3，358
D 総事業費(A+C)	（千円）	4，858	5，067	4，857

主な事業費用の説明	犬の登録や狂犬病予防接種に関わる経費。野犬等を保護・捕獲するための経費。犬猫の不妊・去勢手術費の助成金。

注）平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した 25 年度（6,491 円）,26 年度（6,794 千円）,27 年度（6,715 千円）を使用しています。

4 実施（DO）：事業を数字で分析（アウトプット＝事業量）

		指標名	指標の算出方法	実績値 25 年度	26 年度	27 年度
活動指標	1	登録犬数（頭）	蓄犬台帳登録頭数	2，114	2045	1，880
	2	狂犬病予防注射頭数（頭）	狂犬病予防注射済票の交付数	1，514	1，374	1，445
	3	狂犬病発生件数（件）		0	0	0
	4	迷い犬・野犬捕獲等数（頭）		18	22	30

妥当性		□ A 妥当である　■ B ほぼ妥当である　□ C 妥当でない
上記活動指標と妥当性の説明	1	犬を購入、もしくは生まれた場合は市へ登録をする。
	2	動物病院での予防注射以外に環境課で獣医師と共に４月に市内全域を巡り集団注射を行っている。
	3	市内で発生した例はない。
	4	飼い主や地区より迷い犬の捜索・野犬の捕獲等あった場合市で保護・捕獲を行っている。

5 評価（CHECK）： 事務事業評価 （アウトカム＝成果・効果）

		指標名	指標の算出方法	実績値		
				25 年度	26 年度	27 年度
成果指標もしくはまちづくり指標	1	犬猫手術助成件数（件）	犬猫の不妊・去勢手術の助成件数	１９５	２０１	２１７
	2	犬猫手術助成金の総額（円）	犬猫の不妊・去勢手術の助成金額（千円）	９６０	９６２	８７３
	3	狂犬病予防接種率（％）	狂犬病予防注射接種頭数/犬登録数	７１．６	６７．１	７６．８

成 果		□ A 上がっている ■ B ほぼ上がっている □ C 上がっていない
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	犬猫の助成件数は年々増加傾向にあり無用な繁殖を防ぐための飼い主の一助になっている。
	2	助成件数は増えているがＨ２７に助成額を下げた事から助成金の総額は落ちている。
	3	年々接種率が下がってきたが犬の登録確認、特に死亡による登録抹消の手続きを促したことによりＨ２７は上昇した。

事務事業総合評価	□ A 期待以上に達成 ■B 期待どおりに達成 □ C 期待以下の達成

6 改善（ACTION）：今後の事務事業の展開

今後の事業展開	□ 拡大（コストを集中的に投入する） ■ 一部改善（事務的な改善を実施する） □ 全部改善（内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要） □ 縮小（規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する） □ 廃止（廃止の検討が必要）
事務事業の改善案	改善の概要・方向性（いつまでに、どういう形で具体化するのか） 28 年度の改善計画（今後の事業展開説明） 犬の登録件数について、登録はするが死亡、転出による抹消手続が少ないことから。１０歳以上の犬を対象に登録の確認を行う。
過去の改善経過	Ｈ２７より助成金額を減額。 Ｈ２７より狂犬病予防接種の開催日程に土曜日と休日を入れる。
課長所見	集団予防接種機会の充実を図ったところであるが、飼い主の飼育に対する啓蒙と登録件数と実情における精査について継続と強化が求められる。